#### **愛媛県岩松** (別表第1の3)

#### 評価結果概要表

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3890300142
法人名	医療法人 三寿会
事業所名	グループホーム岩松
所在地	愛媛県宇和島市津島町岩松823番地
自己評価作成日	平成 28 年 8 月 1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

62 な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成28年9月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

良好な人間関係と家庭的な生活環境の中で日常生活が過ごせるよう支援し、常に家族と連携を図り、地域の方々との交流の機会を確保します。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

療養病床から移行して1年9か月が経過の事業所で、鉄筋コンクリート建ての1階と2階はグループホーム、1階に法人が開設する内科医院、3階は医師である法人代表者の住まいとなっており、利用者や家族は心強いと感じている。また、重度化した場合でも対応できるよう医療体制は整っており、看護と介護が連携し職員一丸となり利用者の意向に沿ったケアに努め、利用者や家族は安心して過ごすことができている。

#### ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します ▼. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 取り組みの成果 取り組みの成果 項目 項目 ↓該当するものに〇印 ↓該当する項目に○印 1. ほぼ全ての利用者の 1. ほぼ全ての家族と 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 2. 利用者の2/3くらいの めていることをよく聴いており、信頼関係ができ |2. 家族の2/3くらいと 56 を掴んでいる 63 ている 3. 利用者の1/3くらいの 3. 家族の1/3くらいと (参考項目:23.24.25) 4. ほとんど掴んでいない 4. ほとんどできていない (参考項目:9.10.19) 1. 毎日ある 1. ほぼ毎日のように 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 通いの場やグループホームに馴染みの人や地<br/> 2. 数日に1回程度ある 2. 数日に1回程度 57 がある 64 域の人々が訪ねて来ている 3. たまにある 3. たまに (参考項目:18,38) (参考項目:2,20) 4. ほとんどない 4. ほとんどない 1. ほぼ全ての利用者が 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関 1. 大いに増えている |利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている 2. 少しずつ増えている 2. 利用者の2/3くらいが 係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事 58 65 (参考項目:38) 3. 利用者の1/3くらいが 業所の理解者や応援者が増えている 〇 3. あまり増えていない 4. ほとんどいない (参考項目:4) 4. 全くいない 1. ほぼ全ての利用者が 1. ほぼ全ての職員が 利用者は、職員が支援することで生き生きした 2. 利用者の2/3くらいが 2. 職員の2/3くらいが 職員は、活き活きと働けている 59 表情や姿がみられている 3. 利用者の1/3くらいが (参考項目:11,12) 3. 職員の1/3くらいが (参考項目:36.37) 4. ほとんどいない 4. ほとんどいない 1. ほぼ全ての利用者が 1. ほぼ全ての利用者が 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけてい 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 |2. 利用者の2/3くらいが 2. 利用者の2/3くらいが 60 る 67 足していると思う 3. 利用者の1/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが (参考項目:49) 4. ほとんどいない 4. ほとんどいない 1. ほぼ全ての利用者が 1. ほぼ全ての家族等が $\circ$ 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な 職員から見て、利用者の家族等はサービスにお 2. 家族等の2/3くらいが 2. 利用者の2/3くらいが 61 く過ごせている 68 おむね満足していると思う 3. 利用者の1/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが (参考項目:30.31) 4. ほとんどできていない 4. ほとんどいない |1. ほぼ全ての利用者が |利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟| 2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

## 自己評価及び外部評価結果表

# サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I.理念に基づく運営
- Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が 介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を 修正することはありません。
- ※用語について
- ●家族等=家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。 (他に「家族」に限定する項目がある)
- ●運営者=事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の 役職者(経営者と同義)。
- ●職 員=「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- ●チーム=一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。 関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、 事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価! ステップ 外部評価でブラッシュアップ!! ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名グループホーム岩松(コニット名)さくら記入者(管理者)展界 喜久美評価完了日H27 年 10 月 20 日

(別表第1)

#### 自己評価及び外部評価表

	外部 評価	で 単文の外部計画文 項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.	理念	<u>.</u> に基づく運営	1	'
			(自己評価) 地域住民との交流を行い、尊厳ある自立した日常生活を営む ことが出来るよう援助を行うという理念のもと、職員全員が 認識し、実践している。	
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業 所理念をつくり、管理者と職員は、その理 念を共有して実践につなげている	(外部評価) 「ゆっくり楽しく生き生きと」「家族や地域とのつながりを 築き暮らしやすい環境作り」「本人の意思を尊重しその人ら しさを大切にした生活」を理念として掲げ、ミーティングで 共有している。職員は理念を大切に、入居されるまでの生活 スタイルを継続できるよう配慮している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 季節のイベントに入所者・職員も参加し事業所内での行事に地域の方に案内状を配り、交流をはかっている。  (外部評価) 季節毎の行事には利用者と一緒に参加している。夏祭りは浴衣や法被を着て一緒に歩いたり、秋祭りには事業所内に地元の牛鬼や五ツ鹿などが訪れ、利用者と一緒に写真を撮るなどし交流を持つことができている。事業所で行われるカラオケ大会では母体である医院の外来に案内状を貼ったり地域住民に手渡すなどし、地域の方の参加もあり賑やかに行われてい	られたので、地域とのつながりが深まるような事業所
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認 知症の人の理解や支援の方法を、地域の 人々に向けて活かしている	(自己評価) 認知症について家族さんと話し合う機会はあったが、地域の 人々に向けての対応はできていないので、相談があれば対応 していきたい。	

愛媛県岩松 平成28年11月9日

<u> </u>	<u> </u>	百亿		<u> </u>
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 推進会議に参加できる方が限られるため、多方面から意見を聞くことが難しい。職員も積極的に参加し、サービス対応出来るようにする。  (外部評価) 参加者は、利用者や家族、地域代表者や市の地域密着型サービス担当者などとなっており、事業所の状況報告などが主になっている。「参加者等が固定しており意見が十分に反映されないのではと心配しています。」と管理者の心配する声が聞かれるなど、会議の運営に苦慮しているようである。	等を検討するなどし、会議が効率的に運営されさらな
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 推進会議に担当者に参加してもらい相談や、それに対しての意見をいただいている。  (外部評価) 運営推進会議の委員として市の担当者が参加し、介護保険関係の相談等を行っており、顔馴染みの関係ができている。また、市主催の会議等にも参加し、意見交換や情報交換をするなど連携を深めている。	
6		○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束についての研修会をグループホーム内にて開催している。また職員の意識を高められるよう日々意見交換を行っている。  (外部評価) マニュアルを作成し、事業所内で研修を行っている。外部での研修にも参加しており、声かけとトーン・ロ調を意識して支援している。また、利用者が重度化する中、胃ろうの利用者が一人おり、胃ろうチューブの抜去の恐れがあるためやむを得ず拘束しているが、医師、職員、家族の話し合いの元、同意書を作成している。	

_ 変				
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業 所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 入所者の人権を保持し、職員同士気を配りながら、穏やかに 生活出来るように心がけている。虐待は言葉でもありうるこ とを自覚する。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や 成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、それら を活用できるよう支援している	<b>(自己評価)</b> 機会はあるがまだ活用できていない。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用 者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な 説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時、医療連携体制、重要事項説明書について説明し、不 安な点はいつでも応じられることを伝えている。	
100	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職 員並びに外部者へ表せる機会を設け、それ らを運営に反映させている	(自己評価) 苦情相談窓口を設置し、意見箱を設けている。 苦情相談があれば対応策を示す。  (外部評価) 運営推進介議等でも家族等からの意見はなく、事業所入口に意見箱を設置しているが要望等はないため、管理者は家族の要望や意見を引き出すことを目的に面会時には会話をする機会を設けるなど、家族とのコミュニケーションを積極的に図っている。	

支火	<u> </u>	百亿	·	平成28年11月9日
自己 評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
			(自己評価) 月一回ミーテイングを行い個々の考えや意見交換ができる場を設けている。また発想が得られるよう働きかけている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意 見や提案を聞く機会を設け、反映させてい る	(外部評価) 月1回ミーティングを行い職員の意見や要望を聞くようにしており、職員の休暇等の希望は叶えられるなど、働きやすい職場環境となっている。職員からの要望等は管理者がとりまとめ、法人代表に伝え、法人代表からの要望等は管理者が職員に伝えており双方向の意志疎通が図られている。また、管理者が休暇の場合は職員が直接法人代表に意見を言えるようになっており、管理者には後日伝えるようにし共有している。	
			/ <del></del>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って 働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員の日頃の努力や勤務状況などを把握し、働き甲斐のある 職場環境を作る。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケア の実際と力量を把握し、法人内外の研修を 受ける機会の確保や、働きながらトレーニ ングしていくことを進めている	(自己評価) 職員が働きながら技術や知識を身につけていくことを支援している。	****
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流す る機会をつくり、ネットワークづくりや勉 強会、相互訪問等の活動を通じて、サービ スの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 活動を通じて意見交換を行えるよう努力している。	***************************************
	 [ .安/	」 心と信頼に向けた関係づくりと支援	1	
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が 困っていること、不安なこと、要望等に耳 を傾けながら、本人の安心を確保するため の関係づくりに努めている	(自己評価) 過去歴を把握しその人の思いを大切にして、介護者の価値観 を押しつけないように配慮している。	
				***************************************

<u> </u>	<u>//X /   \                               </u>	<u> </u>		<u> </u>
自己評価	上 外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等 が困っていること、不安なこと、要望等に 耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 面談にて話を聞き必要としている支援を見極め、不安なこと、要望などに耳を傾けながら関係を深める。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と 家族等が「その時」まず必要としている支 援を見極め、他のサービス利用も含めた対 応に努めている	(自己評価) 早急な支援が必要な場合、他施設サービスについての説明を 行う。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場にお かず、暮らしを共にする者同士の関係を築 いている	(自己評価) 家族として一緒に生活しているという関係を作り、一人一人 が孤立せずに出来ることは一緒にしてもらうようにしてい る。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場にお かず、本人と家族の絆を大切にしながら、 共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者、家族、職員の信頼関係を築き、ケアプランの見直しなど連絡を取り希望や、意見の変化など伺っている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人 や場所との関係が途切れないよう、支援に 努めている	(自己評価) 本人や家族の方の意向で、外出されることもあり、自由に過ごせるようストレスを軽減してもらう。  (外部評価) 家族と利用者がお墓参りに行ったり、母体医院を受診した際に近所に住んでいた方がそのまま面会に来たりと馴染みの関係性は保たれている。家族の面会も多く、遠方から来られた家族は宿泊もできるようになっている。訪問時、利用者の家族がたまたま面会に来ており、食堂で職員と一緒に楽しそうに会話をしながら食事の準備をしているところを見ることができ微笑ましく感じた。	

_ 麦;	<u> 援果</u>			<u> </u>
自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが 孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え 合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士の関係が良好に保てるように声掛けや見守りを行い、個々の得意なことを見つけ一緒にお手伝いをお願いしている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これ までの関係性を大切にしながら、必要に応 じて本人・家族の経過をフォローし、相談 や支援に努めている	(自己評価) 必要に応じ、本人の状況これまでのケアの工夫などの情報を 詳しく伝え、穏やかな暮らし方の継続に配慮してもらえるよ う支援している。	
I	Ⅱ. そ	・の人らしい暮らしを続けるためのケアマネジ	メント	
	T		(自己評価)	
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向 の把握に努めている。困難な場合は、本人 本位に検討している	職員全員が一人一人の思いや意向について関心を持ち把握しようと努めている。  (外部評価) 入居前の契約時に利用者や家族に好きなことや思いなどを詳しく聞き、職員間で確認できるノートに記載し共有している。重度の利用者は、家族から話を聞いたり、文字盤を使用し意思疎通を図るなど、利用者本人の希望や意向を確認するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、 生活環境、これまでのサービス利用の経過 等の把握に努めている	(自己評価) 本人や家族と馴染みの関係を築きながら、チームで情報を共 有できるようにしている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、 有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 生活のペースを乱さないよう手助けしている。容態観察を行い、異常の早期発見につとめている。	

<u> タ:</u>	<u> 坂</u> 宗			<u> </u>
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 介護計画を作成し、状況に変化があればその都度見直しを行っている。チームで築き合えるケアプランを立てている。  (外部評価) 入居時や更新時等には、利用者と家族の意向を確認するようにしており、計画作成担当者を中心に相談しながら介護計画を作成している。また、利用者の状態に変化があった場合は、その都度見直しをしており、計画内容は家族に確認するようにしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに活 かしている	(自己評価) 本人の言動やそれに対しての対応を申し送りや介護計画に活かしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 個別の要望にできる限り対応できるよう努めている。今できる事を見つけ、柔軟な姿勢で対応している。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源 を把握し、本人が心身の力を発揮しながら 安全で豊かな暮らしを楽しむことができる よう支援している	(自己評価) 消防訓練、夏祭り見学など、安全で心豊かな暮らしができる よう活用している。	

白己	外部評価	<del>日在</del> 項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30		○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 主治医の継続的な医療を受け、異常の早期発見ができるよう支援している。  (外部評価) 利用者の希望する主治医がかかりつけ医になっているが、法人代表者が医師であり、現在は入居者全員が母体医院をかかりつけ医として希望している。医師が事業所の3階に居住していることから24時間体制で緊急時にも対応できている。他の専門科を受診する場合は家族が同行しており、結果については事業所も共有するなど健康管理に努めている。また歯科については、往診対応があるなど安心である。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 介護職員は情報や気が付いたことを看護職員に伝えて医療が受けられるよう支援している。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 家族などと相談しながら、医療機関に対して本人に関する情報の提供など行い、スムーズに退院できるよう支援を行う。	
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 主治医と連携を取り、終末期に対応できる体制であることを伝え、対応について検討し、気持ちに寄り添いながら対応している。  (外部評価) 看取り・重度化指針は作成していないが、療養病床から移行した事業所のため医療連携体制が整っており、24時間看護職員が介護職員と一緒に支援しているため、利用者や家族、介護職員も安心して過すことができる。また看取りの際は家族も一緒に付き添い、利用者の意向を確認しながら対応することができている。	

愛媛県岩松 平成28年11月9日

_ 多:	发乐.			平成28年11月9日
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全て の職員は応急手当や初期対応の訓練を定期 的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 全ての職員が応急手当や初期対応の定期的な訓練ができていないので、事故発生時の対応の訓練が必要である。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問 わず利用者が避難できる方法を全職員が身 につけるとともに、地域との協力体制を築 いている	(自己評価) 避難訓練、消火訓練、通報訓練を年2回実施している。職員 緊連絡網にて、連絡練習を行った。  (外部評価) 年2回の消防訓練を実施しており、うち1回は消防署員の立合いにより実施している。事業所は山と川に囲まれているが、事業所の3階が地区の避難場所になっており、地域住民も受け入れる準備があるなど連携は取れている。自然災害等の際は、地区の消防団にもパトロールに来てもらえるよう依頼している。備蓄に関しては、まだ不十分なので今後検討するとのことである。	
Γ	₹. ₹	の人らしい暮らしを続けるための日々の支持	交	
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライ バシーを損ねない言葉かけや対応をしてい る	(自己評価) 利用者に対する言葉かけに注意し、性格も配慮しながら日常ケアを行っている。  (外部評価) 着替え等利用者自身で行えることは、時間をかけてでも自分で行ってもらっている。聞き取りや日頃の生活の中で利用者が「いやだろうな」と感じることは、踏み込まないように配慮し支援している。居室の入口にはのれん等をかけ外から居室が見えないよう工夫している。管理者は職員に日頃から声かけには十分配慮するよう伝えている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表した り、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 思っていることや希望が言えるような関係を作り、意思表示できない方は、表情から読み取れるよう努めている。	

<u>友</u> :	<u> </u>			<u> </u>
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではな く、一人ひとりのペースを大切にし、その 日をどのように過ごしたいか、希望にそっ て支援している	(自己評価) 日中の過ごし方は邪魔しないようにテレビを見たり、部屋で 横になったり話をされたりして過ごされている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができ るように支援している	(自己評価) 本人の希望に添ったお気に入りの衣服選びや、介助が必要な方は髭剃り、爪きり、洗面などチームで注意している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と職 員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 各ユニットのキッチンにて、会話を楽しみながら、食事が出来るよう対応している。食事形態は状態に合わせて粥、刻み、とろみなど工夫して安全に食事が取れるようにしている。  (外部評価) 食事の準備は専門の調理員が行っており、季節感のある野菜等をふんだんに使用した料理になっている。誕生日などは手作りのケーキを利用者と一緒に作ることもある。希望に応じ居室で食事をしている利用者もおり、本人本位の対応がなされている。利用者と職員が楽しそうに笑顔で会話しながら食事をしている様子を見ていると、日頃から良好な関係ができていると感じた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を 通じて確保できるよう、一人ひとりの状態 や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 摂取量、水分量をチェックし、食事の形態も必要時変更している。水分不足の方も折られるので、脱水に注意し声かけを行い、水分を摂取してもらっている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食 後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応 じた口腔ケアをしている	(自己評価) うがい、入れ歯洗浄など、それぞれに応じたケアをおこなっている。希望があれば必要に応じ、歯科医の受診も可能。	

<u> </u>	<u> 坂</u> 宗			平成28年11月9日
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
		○批╨の白卉士塚	(自己評価) 排泄チェック表を使用し、個々に応じた声かけ、トイレ誘導を 行っている。必要時パットの種類変更を行っている。	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人 ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活か して、トイレでの排泄や排泄の自立にむけ た支援を行っている	(外部評価) 車いす用の広いトイレがあり、自力で移動できる利用者には一人で排泄できるよう配慮されている。ポータブルトイレの設置はしていないなど、できる限りトイレで排泄できるよう支援している。重度化した利用者は、排泄チェック表でパターンを把握し、おむつの定期的な交換に努めている。布パンツ使用でトイレで排泄ができる利用者には、声かけのタイミングに気をつけるなど早めのトイレ誘導をするよう心がけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物 の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じ た予防に取り組んでいる	(自己評価) 主治医の指示により、下剤を使用するが、水分や、散歩による便秘解消も心がけている。	
		○入浴を楽しむことができる支援	(自己評価) 入浴日、バイタル異常ある方は入浴を避け2/wの入浴提供を 目標としている。拒否される方は無理強いをしない。	
				***************************************
45	17	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて 入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日 や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じ た入浴の支援をしている	(外部評価) 週2回の入浴ができるよう支援している。浴室は個浴で職員 2人体制で利用者が不便を感じないよう対応している。石鹸 やシャンプーは利用者の好みのものを使用できるようにして いる。また入浴が苦手な利用者には、日を変えたり時間を変 更し声かけをしたり、「明日は受診なのできれいにして先生 に診てもらいましょう。」などと伝えるなど工夫をし、利用 者全員が入浴できるよう努めている。	
			(自己評価) 部屋の明るさ、寝具、私服の調節をし、その方の気分、体調	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に 応じて、休息したり、安心して気持ちよく 眠れるよう支援している	にあわせ入眠しやすいよう配慮している。	
Ь			!	attiphe.

<u> </u>	<u> 坂</u> 宗	<u> </u>	<del>-</del>	
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作 用、用法や用量について理解しており、服 薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 内服されている薬の理解、投薬時確認し服薬介助を行い、変 更時送りノートにて記入し、情報を共有している。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう に、一人ひとりの生活歴や力を活かした役 割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支 援をしている	(自己評価) 可能性を発揮できる場を設け、お手伝いをしていただいている。歌を歌ったり、塗り絵をしたり気分転換が図れるよう支援している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外 に出かけられるよう支援に努めている。ま た、普段は行けないような場所でも、本人 の希望を把握し、家族や地域の人々と協力 しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 気分転換が図れるように、戸外外出する機会を設け、家族の方にも協力をお願いしできる限り外出できるように努力しているが、不十分である。季節により体調を考え行っている。  (外部評価) 天気の良い日は、事業所周辺の野菜や花を見に散歩に出かけるなど楽しむことができており、近所の人も立ち止まり野菜や花の成長ぶりをお互い話すなど地域とのつながりのきっかけにもなっている。事業所には公用車がないため遠方に外出する機会は少ないが、家族の協力により外食などに出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを 理解しており、一人ひとりの希望や力に応 じて、お金を所持したり使えるように支援 している	(自己評価) 所持すると場所を移したり、どこに置いたか解らなくなる 為、お金の所持はしていない。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をした り、手紙のやり取りができるように支援を している	(自己評価) プライバシーに配慮しながら外部との交流を支援している。いつでも電話できるようにしている。	

<u> 227</u>	<u> </u>	百亿	•	平成28年11月9日
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52		○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食 堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって 不快や混乱をまねくような刺激(音、光、 色、広さ、温度など)がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心地 よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) キッチンに光が入り、明るく開放的であり、危険物排除に努め、季節の花を飾ったりして、四季の移り変わりをかんじてもらっている。  (外部評価) 食堂には広い窓があり、自然の光が差し込み外界の騒音もなく気持ちの良い空間となっており、お祭りなどの行事に参加した時の写真が貼ってあるなど、会話のきっかけにもなっている。食堂のテーブルには、季節感のあるひまわりが飾られ、気持ちが和むことができた。食堂やトイレに行くには事務所の横を通るため、職員との触れ合いができ、利用者と職員ができる限りかかわれるよう配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の 合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) レクレーション、食事、気の合った方同士、にこやかに過ご されていて、他者の部屋訪問時は、トラブルがないよう努め ている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族 と相談しながら、使い慣れたものや好みの ものを活かして、本人が居心地よく過ごせ るような工夫をしている	(自己評価) 居室は自分の愛着のあるものを置いてもらい、落ち着いた生活が送れる様努めている。  (外部評価) 居室にはタンス、エアコン、ベッドや床頭台などが備え付けられており、入口にはのれんやリボンなどを飾り目印にもなっている。家族の写真や自分で作った折り紙の鶴など好みのものを飾っている。故人の位牌、時計やポットなど自宅で使い慣れたものなどを配置し、利用者が落ち着き居心地よく過ごせるよう工夫されている。またベッドに柔道の帯を結び付け、起き上がりに使用している利用者がおり「こんなことしても職員さんは何も言わんのよ。いいやろ。」と笑顔で見せてくれたのが印象的であった。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や 「わかること」を活かして、安全かつでき るだけ自立した生活が送れるように工夫し ている	(自己評価) バリアフリーであり、手すり設置、浴室、トイレにブザーあり、居室が理解できない方は部屋のドアに目印となる物をつける。	

#### 評価結果概要表

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3890300142			
法人名 医療法人 三寿会				
事業所名	グループホーム岩松			
所在地	愛媛県宇和島市津島町岩松823番地			
自己評価作成日	平成 28 年 8 月 1日			

#### ※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

62 な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成28年9月15日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

良好な人間関係と家庭的な生活環境の中で日常生活が過ごせるよう支援し、常に家族と連携を図 り、地域の方々との交流の機会を確保します。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

療養病床から移行して1年9か月が経過の事業所で、鉄筋コンクリート建ての1階と2階はグ ループホーム、1階に法人が開設する内科医院、3階は医師である法人代表者の住まいとなっ ており、利用者や家族は心強いと感じている。また、重度化した場合でも対応できるよう医療体 制は整っており、看護と介護が連携し職員一丸となり利用者の意向に沿ったケアに努め、利用 者や家族は安心して過ごすことができている。

項 目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に〇印
職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 〇 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 7 がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある O 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 〇 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている(参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 〇 3. あまり増えていない 4. 全くいない
利用者は、職員が支援することで生き生きした 表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 〇 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満- 足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な に過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 〇 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟 i2 な支援により、安心して暮らせている	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが			

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

## 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I.理念に基づく運営
- Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が 介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を 修正することはありません。

#### ※用語について

- ●家族等=家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。 (他に「家族」に限定する項目がある)
- ●運営者=事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の 役職者(経営者と同義)。
- ●職 員=「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- ●チーム=一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。 関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、 事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価! ステップ 外部評価でブラッシュアップ!! ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名グループホーム岩松(ユニット名)すみれ記入者(管理者)財倉 美恵氏名朝倉 美恵評価完了日H 27 年 10 月 20 日

(別表第1)

### 自己評価及び外部評価表

	<u>に評価及い外部評価表</u>					
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)		
I .:	理念	に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業 所理念をつくり、管理者と職員は、その理 念を共有して実践につなげている	(自己評価) 地域住民との交流を行い、尊厳ある自立した日常生活を営むことが出来るよう援助を行うという理念のもと、職員全員が認識し、実践している。  (外部評価) 「ゆっくり楽しく生き生きと」「家族や地域とのつながりを築き暮らしやすい環境作り」「本人の意思を尊重しその人らしさを大切にした生活」を理念として掲げ、ミーティングで共有している。職員は理念を大切に、入居されるまでの生活スタイルを継続できるよう配慮している。			
2	2	<ul><li>○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</li></ul>	(自己評価) 季節のイベントに入所者・職員も参加し事業所内での行事に地域の方に案内状を配り、交流をはかっている。  (外部評価) 季節毎の行事には利用者と一緒に参加している。夏祭りは浴衣や法被を着て一緒に歩いたり、秋祭りには事業所内に地元の牛鬼や五ツ鹿などが訪れ、利用者と一緒に写真を撮るなどし交流を持つことができている。事業所で行われるカラオケ大会では母体である医院の外来に案内状を貼ったり地域住民に手渡すなどし、地域の方の参加もあり賑やかに行われている。	られたので、地域とのつながりが深まるような事業所 としての取組みに期待したい。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認 知症の人の理解や支援の方法を、地域の 人々に向けて活かしている	(自己評価) 認知症について家族さんと話し合う機会はあったが、地域の 人々に向けての対応はできていないので、相談があれば対応 していきたい。			

愛媛県岩松 平成28年11月9日

	<u> </u>	百亿	•	<u> </u>
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 推進会議に参加できる方が限られるため、多方面から意見を聞くことが難しい。職員も積極的に参加し、サービス対応出来るようにする。  (外部評価) 参加者は、利用者や家族、地域代表者や市の地域密着型サービス担当者などとなっており、事業所の状況報告などが主になっている。「参加者等が固定しており意見が十分に反映されないのではと心配しています。」と管理者の心配する声が聞かれるなど、会議の運営に苦慮しているようである。	等を検討するなどし、会議が効率的に運営されさらな
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 推進会議に担当者に参加してもらい相談や、それに対しての意見をいただいている。  (外部評価) 運営推進会議の委員として市の担当者が参加し、介護保険関係の相談等を行っており、顔馴染みの関係ができている。また、市主催の会議等にも参加し、意見交換や情報交換をするなど連携を深めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束についての研修会をグループホーム内にて開催している。また職員の意識を高められるよう日々意見交換を行っている。  (外部評価) マニュアルを作成し、事業所内で研修を行っている。外部での研修にも参加しており、声かけとトーン・ロ調を意識して支援している。また、利用者が重度化する中、胃ろうの利用者が一人おり、胃ろうチューブの抜去の恐れがあるためやむを得ず拘束しているが、医師、職員、家族の話し合いの元、同意書を作成している。	

_ 変	<u> 媛宗</u>	<u> 石仏                                   </u>		<u> </u>
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業 所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 入所者の人権を保持し、職員同士気を配りながら、穏やかに 生活出来るように心がけている。虐待は言葉でもありうることを自覚する。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や 成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、それら を活用できるよう支援している	<b>(自己評価)</b> 機会はあるがまだ活用できていない。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用 者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な 説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時、医療連携体制、重要事項説明書について説明し、不 安な点はいつでも応じられることを伝えている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職 員並びに外部者へ表せる機会を設け、それ らを運営に反映させている	(自己評価) 苦情相談窓口を設置し、意見箱を設けている。 苦情相談があれば対応策を示す。  (外部評価) 運営推進介議等でも家族等からの意見はなく、事業所入口に意見箱を設置しているが要望等はないため、管理者は家族の要望や意見を引き出すことを目的に面会時には会話をする機会を設けるなど、家族とのコミュニケーションを積極的に図っている。	

支火	<u> </u>	百亿	·	平成28年11月9日
自己 評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
			(自己評価) 月一回ミーテイングを行い個々の考えや意見交換ができる場を設けている。また発想が得られるよう働きかけている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意 見や提案を聞く機会を設け、反映させてい る	(外部評価) 月1回ミーティングを行い職員の意見や要望を聞くようにしており、職員の休暇等の希望は叶えられるなど、働きやすい職場環境となっている。職員からの要望等は管理者がとりまとめ、法人代表に伝え、法人代表からの要望等は管理者が職員に伝えており双方向の意志疎通が図られている。また、管理者が休暇の場合は職員が直接法人代表に意見を言えるようになっており、管理者には後日伝えるようにし共有している。	
			/ <del></del>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って 働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員の日頃の努力や勤務状況などを把握し、働き甲斐のある 職場環境を作る。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケア の実際と力量を把握し、法人内外の研修を 受ける機会の確保や、働きながらトレーニ ングしていくことを進めている	(自己評価) 職員が働きながら技術や知識を身につけていくことを支援している。	****
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流す る機会をつくり、ネットワークづくりや勉 強会、相互訪問等の活動を通じて、サービ スの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 活動を通じて意見交換を行えるよう努力している。	***************************************
	 [ .安/	」 心と信頼に向けた関係づくりと支援	1	
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が 困っていること、不安なこと、要望等に耳 を傾けながら、本人の安心を確保するため の関係づくりに努めている	(自己評価) 過去歴を把握しその人の思いを大切にして、介護者の価値観 を押しつけないように配慮している。	
				***************************************

<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等 が困っていること、不安なこと、要望等に 耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 面談にて話を聞き必要としている支援を見極め、不安なこと、要望などに耳を傾けながら関係を深める。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と 家族等が「その時」まず必要としている支 援を見極め、他のサービス利用も含めた対 応に努めている	(自己評価) 早急な支援が必要な場合、他施設サービスについての説明を 行う。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場にお かず、暮らしを共にする者同士の関係を築 いている	(自己評価) 家族として一緒に生活しているという関係を作り、一人一人 が孤立せずに出来ることは一緒にしてもらうようにしてい る。	
19		<ul><li>○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場にお かず、本人と家族の絆を大切にしながら、 共に本人を支えていく関係を築いている</li></ul>	(自己評価) 利用者、家族、職員の信頼関係を築き、ケアプランの見直しなど連絡を取り希望や、意見の変化など伺っている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人 や場所との関係が途切れないよう、支援に 努めている	(自己評価) 本人や家族の方の意向で、外出されることもあり、自由に過ごせるようストレスを軽減してもらう。  (外部評価) 家族と利用者がお墓参りに行ったり、母体医院を受診した際に近所に住んでいた方がそのまま面会に来たりと馴染みの関係性は保たれている。家族の面会も多く、遠方から来られた家族は宿泊もできるようになっている。訪問時、利用者の家族がたまたま面会に来ており、食堂で職員と一緒に楽しそうに会話をしながら食事の準備をしているところを見ることができ微笑ましく感じた。	

<u> </u>	<u> </u>			平成28年11月9日
自己 評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが 孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え 合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士の関係が良好に保てるように声掛けや見守りを行い、個々の得意なことを見つけ一緒にお手伝いをお願いしている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これ までの関係性を大切にしながら、必要に応 じて本人・家族の経過をフォローし、相談 や支援に努めている	(自己評価) 必要に応じ、本人の状況これまでのケアの工夫などの情報を 詳しく伝え、穏やかな暮らし方の継続に配慮してもらえるよ う支援している。	
I	Ⅱ. そ	・ の人らしい暮らしを続けるためのケアマネジ	メント	Mar-
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向 の把握に努めている。困難な場合は、本人 本位に検討している	(自己評価) 職員全員が一人一人の思いや意向について関心を持ち把握しようと努めている。  (外部評価) 入居前の契約時に利用者や家族に好きなことや思いなどを詳しく聞き、職員間で確認できるノートに記載し共有している。重度の利用者は、家族から話を聞いたり、文字盤を使用し意思疎通を図るなど、利用者本人の希望や意向を確認するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、 生活環境、これまでのサービス利用の経過 等の把握に努めている	(自己評価) 本人や家族と馴染みの関係を築きながら、チームで情報を共 有できるようにしている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、 有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 生活のペースを乱さないよう手助けしている。容態観察を行い、異常の早期発見につとめている。	

_ 変	<u> </u>			<u> </u>
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 介護計画を作成し、状況に変化があればその都度見直しを行っている。チームで築き合えるケアプランを立てている。  (外部評価) 入居時や更新時等には、利用者と家族の意向を確認するようにしており、計画作成担当者を中心に相談しながら介護計画を作成している。また、利用者の状態に変化があった場合は、その都度見直しをしており、計画内容は家族に確認するようにしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに活 かしている	(自己評価) 本人の言動やそれに対しての対応を申し送りや介護計画に活かしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 個別の要望にできる限り対応できるよう努めている。今できる事を見つけ、柔軟な姿勢で対応している。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源 を把握し、本人が心身の力を発揮しながら 安全で豊かな暮らしを楽しむことができる よう支援している	(自己評価) 消防訓練、夏祭り見学など、安全で心豊かな暮らしができる よう活用している。	

		1	<u> </u>
外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
	<ul><li>○かかりつけ医の受診支援</li><li>受診は、本人及び家族等の希望を大切に</li></ul>	主治医の継続的な医療を受け、異常の早期発見ができるよう支援している。	
11	し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら	利用者の希望する主治医がかかりつけ医になっているが、法人代表者が医師であり、現在は入居者全員が母体医院をかかりつけ医として希望している。医師が事業所の3階に居住していることから24時間体制で緊急時にも対応できている。他の専門科を受診する場合は家族が同行しており、結果については事業所も共有するなど健康管理に努めている。また歯科については、往診対応があるなど安心である。	
	○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 介護職員は情報や気が付いたことを看護職員に伝えて医療が受けられるよう支援している。	
	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 家族などと相談しながら、医療機関に対して本人に関する情報の提供など行い、スムーズに退院できるよう支援を行う。	
12	<ul><li>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</li><li>重度化した場合や終末期のあり方につい</li></ul>	(自己評価) 主治医と連携を取り、終末期に対応できる体制であることを伝え、対応について検討し、気持ちに寄り添いながら対応している。  (外部評価) 看取り・重度化指針は作成していないが、療養病床から移行した事業所のため医療連携体制が整っており、24時間看護職員が介護職員と一緒に支援しているため、利用者や窓に	
	しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	介護職員も安心して過すことができる。また看取りの際は家族も一緒に付き添い、利用者の意向を確認しながら対応することができている。	
	外評 11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたか、適切な医療を受けら 関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している ○看護職との協働 介護職員は、きを、可護を受けられるように対して、とのもののののののでは、のののののでは、のののののでは、のののののでは、のののののでは、ののののののでは、のののののののの	実践状況

\_愛媛県岩松\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_平成28年11月9日\_

<u> z</u>	坂宗.			
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全て の職員は応急手当や初期対応の訓練を定期 的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 全ての職員が応急手当や初期対応の定期的な訓練ができていないので、事故発生時の対応の訓練が必要である。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問 わず利用者が避難できる方法を全職員が身 につけるとともに、地域との協力体制を築 いている	(自己評価) 避難訓練、消火訓練、通報訓練を年2回実施している。職員 緊連絡網にて、連絡練習を行った。  (外部評価) 年2回の消防訓練を実施しており、うち1回は消防署員の立合いにより実施している。事業所は山と川に囲まれているが、事業所の3階が地区の避難場所になっており、地域住民も受け入れる準備があるなど連携は取れている。自然災害等の際は、地区の消防団にもパトロールに来てもらえるよう依頼している。備蓄に関しては、まだ不十分なので今後検討するとのことである。	
	∇. そ	の人らしい暮らしを続けるための日々の支持		
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライ バシーを損ねない言葉かけや対応をしてい る	(自己評価) 利用者に対する言葉かけに注意し、性格も配慮しながら日常ケアを行っている。  (外部評価) 着替え等利用者自身で行えることは、時間をかけてでも自分で行ってもらっている。聞き取りや日頃の生活の中で利用者が「いやだろうな」と感じることは、踏み込まないように配慮し支援している。居室の入口にはのれん等をかけ外から居室が見えないよう工夫している。管理者は職員に日頃から声かけには十分配慮するよう伝えている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表した り、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 思っていることや希望が言えるような関係を作り、意思表示できない方は、表情から読み取れるよう努めている。	

<u>友</u> :	<u> </u>	<u>白化</u>		平成28年11月9日
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その 日をどのように過ごしたいか、希望にそっ て支援している	(自己評価) 日中の過ごし方は邪魔しないようにテレビを見たり、部屋で 横になったり話をされたりして過ごされている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができ るように支援している	(自己評価) 本人の希望に添ったお気に入りの衣服選びや、介助が必要な方は髭剃り、爪きり、洗面などチームで注意している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と職 員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 各ユニットのキッチンにて、会話を楽しみながら、食事が出来るよう対応している。食事形態は状態に合わせて粥、刻み、とろみなど工夫して安全に食事が取れるようにしている。  (外部評価) 食事の準備は専門の調理員が行っており、季節感のある野菜等をふんだんに使用した料理になっている。誕生日などは手作りのケーキを利用者と一緒に作ることもある。希望に応じ居室で食事をしている利用者もおり、本人本位の対応がなされている。利用者と職員が楽しそうに笑顔で会話しながら食事をしている様子を見ていると、日頃から良好な関係ができていると感じた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を 通じて確保できるよう、一人ひとりの状態 や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 摂取量、水分量をチェックし、食事の形態も必要時変更している。水分不足の方も折られるので、脱水に注意し声かけを行い、水分を摂取してもらっている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食 後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応 じた口腔ケアをしている	(自己評価) うがい、入れ歯洗浄など、それぞれに応じたケアをおこなっている。希望があれば必要に応じ、歯科医の受診も可能。	

\_愛媛県岩松\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_平成28年11月9日\_

<u> 27</u>	汉八八	<u> </u>		<u> </u>
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
		○排泄の自立支援	(自己評価) 排泄チェック表を使用し、個々に応じた声かけ、トイレ誘導を 行っている。必要時パットの種類変更を行っている。 (外部評価)	
43	16	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	車いす用の広いトイレがあり、自力で移動できる利用者には一人で排泄できるよう配慮されている。ポータブルトイレの設置はしていないなど、できる限りトイレで排泄できるよう支援している。重度化した利用者は、排泄チェック表でパターンを把握し、おむつの定期的な交換に努めている。布パンツ使用でトイレで排泄ができる利用者には、声かけのタイミングに気をつけるなど早めのトイレ誘導をするよう心がけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物 の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じ た予防に取り組んでいる	(自己評価) 主治医の指示により、下剤を使用するが、水分や、散歩による便秘解消も心がけている。	
			(自己評価) 入浴日、バイタル異常ある方は入浴を避け 2/wの入浴提供を 目標としている。拒否される方は無理強いをしない。	
		<ul><li>○入浴を楽しむことができる支援</li></ul>		
45	17	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて 入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日 や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じ た入浴の支援をしている	(外部評価) 週2回の入浴ができるよう支援している。浴室は個浴で職員 2人体制で利用者が不便を感じないよう対応している。石鹸 やシャンプーは利用者の好みのものを使用できるようにして いる。また入浴が苦手な利用者には、日を変えたり時間を変 更し声かけをしたり、「明日は受診なのできれいにして先生 に診てもらいましょう。」などと伝えるなど工夫をし、利用 者全員が入浴できるよう努めている。	
			(自己評価) 部屋の明るさ、寝具、私服の調節をし、その方の気分、体調	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に 応じて、休息したり、安心して気持ちよく 眠れるよう支援している	にあわせ入眠しやすいよう配慮している。	

<u> </u>	坂 示	<u> </u>	·	一
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作 用、用法や用量について理解しており、服 薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 内服されている薬の理解、投薬時確認し服薬介助を行い、変 更時送りノートにて記入し、情報を共有している。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう に、一人ひとりの生活歴や力を活かした役 割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支 援をしている	(自己評価) 可能性を発揮できる場を設け、お手伝いをしていただいている。歌を歌ったり、塗り絵をしたり気分転換が図れるよう支援している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外 に出かけられるよう支援に努めている。ま た、普段は行けないような場所でも、本人 の希望を把握し、家族や地域の人々と協力 しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 気分転換が図れるように、戸外外出する機会を設け、家族の方にも協力をお願いしできる限り外出できるように努力しているが、不十分である。季節により体調を考え行っている。  (外部評価) 天気の良い日は、事業所周辺の野菜や花を見に散歩に出かけるなど楽しむことができており、近所の人も立ち止まり野菜や花の成長ぶりをお互い話すなど地域とのつながりのきっかけにもなっている。事業所には公用車がないため遠方に外出する機会は少ないが、家族の協力により外食などに出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを 理解しており、一人ひとりの希望や力に応 じて、お金を所持したり使えるように支援 している	(自己評価) 所持すると場所を移したり、どこに置いたか解らなくなる 為、お金の所持はしていない。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をした り、手紙のやり取りができるように支援を している	(自己評価) プライバシーに配慮しながら外部との交流を支援している。いつでも電話できるようにしている。	

愛如	爰県	岩松		平成28年11月9日
自己評価	外部 評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食 堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって 不快や混乱をまねくような刺激(音、光、 色、広さ、温度など)がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心地 よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) キッチンに光が入り、明るく開放的であり、危険物排除に努め、季節の花を飾ったりして、四季の移り変わりをかんじてもらっている。  (外部評価) 食堂には広い窓があり、自然の光が差し込み外界の騒音もなく気持ちの良い空間となっており、お祭りなどの行事に参加した時の写真が貼ってあるなど、会話のきっかけにもなっている。食堂のテーブルには、季節感のあるひまわりが飾られ、気持ちが和むことができた。食堂やトイレに行くには事務所の横を通るため、職員との触れ合いができ、利用者と職員ができる限りかかわれるよう配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の 合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) レクレーション、食事、気の合った方同士、にこやかに過ごされていて、他者の部屋訪問時は、トラブルがないよう努めている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族 と相談しながら、使い慣れたものや好みの ものを活かして、本人が居心地よく過ごせ るような工夫をしている	(自己評価) 居室は自分の愛着のあるものを置いてもらい、落ち着いた生活が送れる様努めている。  (外部評価) 居室にはタンス、エアコン、ベッドや床頭台などが備え付けられており、入口にはのれんやリボンなどを飾り目印にもなっている。家族の写真や自分で作った折り紙の鶴など好みのものを飾っている。故人の位牌、時計やポットなど自宅で使い慣れたものなどを配置し、利用者が落ち着き居心地よく過ごせるよう工夫されている。またベッドに柔道の帯を結び付け、起き上がりに使用している利用者がおり「こんなことしても職員さんは何も言わんのよ。いいやろ。」と笑顔で見せてくれたのが印象的であった。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や 「わかること」を活かして、安全かつでき るだけ自立した生活が送れるように工夫し ている	(自己評価) バリアフリーであり、手すり設置、浴室、トイレにブザーあり、居室が理解できない方は部屋のドアに目印となる物をつける。	